

問1 商店街の活性化を目的としたメモの中に、「銀行からの融資を受けて設備投資を行う」という資金調達の方法が記されている場合、この仕組みの説明として最も適切なものはどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 企業が株式や社債を発行し、投資家から直接資金を募る方法である。
2. 銀行が預金者から集めた資金を、銀行の判断と責任で企業などに貸し出す方法である。
3. 地方公共団体が発行する地方債を、住民が直接購入して資金を提供する方法である。
4. 寄付金を募り、特定のプロジェクトに対して不特定多数の個人が資金を供出する方法である。

問2 中央銀行の役割を示したモデル図において、日本銀行が民間銀行に対して「国債を買い取る」という操作を行い、その結果、民間銀行から企業への矢印として「貸し出しの増加」が示されている場合があります。このような一連の政策が行われる背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 千葉県公立入試 類似）

1. 景気が悪化しているため、市場の通貨量を増やして経済活動を活発にする必要がある。
2. 景気が過熱して物価が急上昇しているため、市場の通貨量を回収してインフレを抑える必要がある。
3. 政府の財政赤字を解消するために、日本銀行が直接的に国の借金を肩代わりする必要がある。
4. 円安が急速に進行しているため、金利を引き上げることで円の価値を安定させる必要がある。

問3 景気対策として日本銀行が実施する金融政策において、不景気時に行われる「買いオペレーション」の仕組みとその影響を説明した文章として、最も適切なものを選びなさい。（2019年 鳥取県公立入試 類似）

1. 日本銀行が銀行から国債を買い入れることで、銀行が保有する資金を増やし、企業や個人への貸し出しを促進させる。
2. 日本銀行が銀行へ国債を売却することで、市場にある資金を日本銀行が回収し、物価の急激な上昇を抑制する。
3. 日本銀行が銀行から国債を買い入れることで、金利を意図的に上昇させ、過剰な消費や投資を抑え込もうとする。
4. 日本銀行が銀行へ国債を売却することで、銀行の資金を減少させ、円の価値を下げ輸出産業を有利にする。

問4 日本銀行は、私たち一般の個人や企業と直接取引を行うことはありませんが、三菱UFJ銀行や地方銀行などの民間金融機関を相手に、資金の貸し出しや預金の受け入れを行っています。このような日本銀行の役割を何と呼びますか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）

1. 銀行の銀行
2. 政府の銀行
3. 発券銀行
4. 管理通貨制度

問5 日本銀行が「公開市場操作（売りオペレーション）」を行う背景として、物価の動向と市場の仕組みを説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）

1. 不況によって物価が下落しているとき、企業の資金繰りを助けるために通貨量を増やす必要があるため。
2. 好景気によって物価が上がりすぎると、貨幣の価値が相対的に下がり国民生活が不安定になるため、通貨量を絞り物価を安定させる必要があるから。
3. 政府の税収が不足しているとき、日本銀行が国債を売ることで得た利益を直接、公共事業の資金に充てて景気を下支えするため。
4. 円安が進みすぎた際に、日本銀行が国債を売ることで強制的に円高へと誘導し、輸出企業の利益を拡大させるため。

問6 現金そのものを直接送る代わりに、銀行などの口座振替を利用して遠隔地への送金や支払いを行う仕組みを何といいますか。また、この仕組みが異なる国の通貨間で行われる際の通貨の交換比率を何といいますか。（2022年 岐阜県公立入試 類似）

1. 為替と為替相場
2. 利息と金利
3. 配当と配当利回り
4. 株価と株価指数

問7 日本の中央銀行が担う「政府の銀行」としての役割について説明した文章として、正しいものはどれか。（2019年 高知県公立入試 類似）

1. 国税の受け入れや、国が公共事業などの支払いに使う資金の管理を行う
2. 日本国内で流通する全ての硬貨と紙幣を製造し、政府に納入する
3. 政府が決めた税率や予算案が適切かどうかを審査し、承認を与える
4. 政府が倒産の危機に陥った際に、無制限に資金を提供して救済する

問8 日本の中央銀行である日本銀行は、民間銀行などの金融機関との間で取引を行うことから「銀行の銀行」と呼ばれます。この役割に基づく業務内容として、最も適切なものはどれですか。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 一般の銀行に対して資金の貸し出しを行ったり、預金の受け入れを行ったりする。
2. 一般の家計から預金を預かり、住宅ローンや教育ローンの貸し出しを行う。
3. 全国の企業から直接預金を集め、新工場の建設などの設備投資資金を融資する。
4. 倒産の恐れがある民間企業に対し、政府に代わって直接的な経営支援を行う。

答え合わせ・解説

- 問1** **答え 2**
銀行が預金者から集めた資金を、銀行の判断と責任で企業などに貸し出す方法である。
- 銀行からの融資は「間接金融」に分類されます。この仕組みでは、銀行が預金者から預かった資金をまとめて管理し、審査を通じて貸付先を決定します。資金の出し手である預金者は、自分の預金などの企業に貸し出されるかを直接選択することはありません。これに対して、株式の発行などで資金を集める方法は「直接金融」と呼ばれます。
- 問2** **答え 1**
景気が悪化しているため、市場の通貨量を増やして経済活動を活発にする必要がある。
- 日本銀行が国債を買うことで市場にお金を流す「買いオペレーション」は、不況期に行われる景気対策です。民間銀行が保有する国債を日本銀行が買い取ると、民間銀行の手に資金（通貨）が残ります。この資金を企業への融資に回させることで、企業の設備投資や生産活動を活性化させ、停滞した経済を上向かせることが最大の目的です。
- 問3** **答え 1**
日本銀行が銀行から国債を買い入れることで、銀行が保有する資金を増やし、企業や個人への貸し出しを促進させる。
- 日本銀行が行う買いオペレーションの主な目的は、市場の通貨量を増やして景気を上向かせることにあります。日本銀行が国債を買い入れると、その対価として支払われた現金が民間銀行の資金源となります。銀行の資金に余裕ができると、企業などへの貸出が活発になり、経済活動が活性化します。逆に、国債を売却する売りオペレーションは、景気が過熱している際に通貨量を減らすために行われます。
- 問4** **答え 1**
銀行の銀行
- 日本銀行は、一般の銀行（民間金融機関）のみを取引相手として、資金の貸し出しや預金の受け入れを行う役割を担っています。私たちは直接日本銀行に口座を作ることはできず、民間金融機関を通じて間接的にその恩恵を受けています。この仕組みは、金融システム全体の安定を維持するために重要な機能です。
- 問5** **答え 2**
好景気によって物価が上がりすぎると、貨幣の価値が相対的に下がり国民生活が不安定になるため、通貨量を絞り物価を安定させる必要があるから。
- 物価が持続的に上昇するインフレーションが起こると、同じ金額で買えるものが少なくなる（＝貨幣価値の下落）ため、国民生活に悪影響を及ぼします。日本銀行の重要な役割の一つは「物価の安定」であり、売りオペレーションを通じて市中の通貨量を減らすことで、過度な経済の過熱を冷やし、物価をコントロールしようとしています。
- 問6** **答え 1**
為替と為替相場
- 遠隔地への送金や決済を、現金を運ぶリスクを避けて銀行口座を通じた振込などで処理する仕組みを「為替」と呼びます。国内で行われるものを内国為替、国をまたいで行われるものを外国為替といいます。外国為替において、日本円と米ドルのように異なる通貨を交換する際の比率は「為替相場（為替レート）」と呼ばれ、市場の需要と供給によって常に変動しています。
- 問7** **答え 1**
国税の受け入れや、国が公共事業などの支払いに使う資金の管理を行う
- 日本銀行は国の資金（国庫金）を管理する窓口としての役割を持っています。国民が納めた税金を預かったり、国債に関する事務を行ったり、国の支出に関わる業務を行うことから「政府の銀行」と呼ばれます。なお、日本銀行が発行するのは紙幣（日本銀行券）のみであり、硬貨は政府（造幣局）が発行します。また、予算の審査や承認は国会の権限です。
- 問8** **答え 1**
一般の銀行に対して資金の貸し出しを行ったり、預金の受け入れを行ったりする。
- 日本銀行は私たち個人（家計）や一般の企業が口座を作って預金をしたり、融資を受けたりすることはできません。あくまで民間銀行などの金融機関を相手に資金の貸し出しや預金の受け入れを行うため、「銀行の銀行」と呼ばれます。選択肢にあるような個人や企業への直接的な金融サービスは、普通銀行などの役割です。